



## 下田まち遺産「知る」ための取組 一まち遺産のこれまで一



下田まち遺産こどもシンポジウム

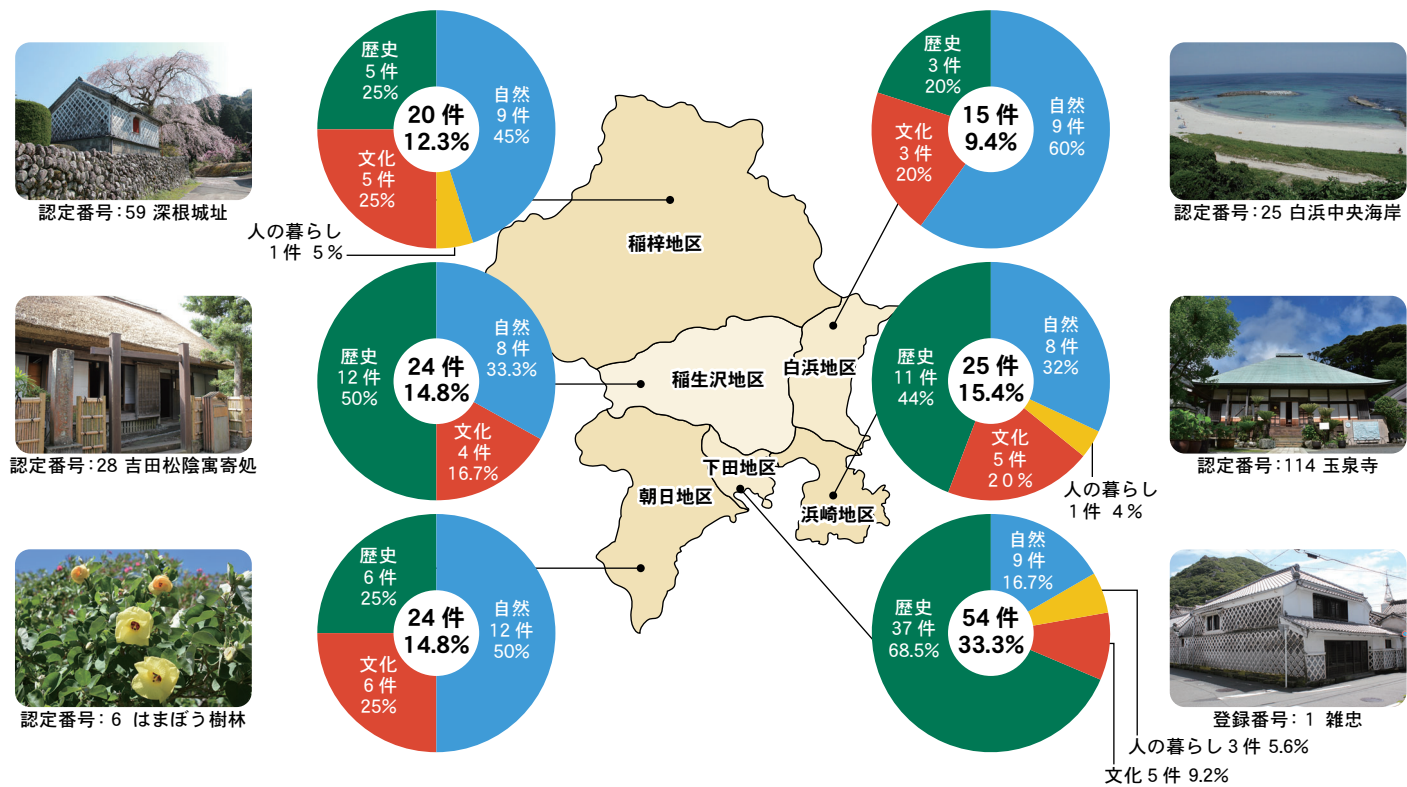


市内小学校への出前講座

「下田まち遺産」を未来へつなげていくため、次代を担う子ども達への普及啓発活動を行ってきました。普段自分たちが住んでいる地域は、住み慣れているからこそ当たり前前の景色となっていて、それ以上の感覚はなかなか持てません。しかし、出前講座で子ども達が質問する際の意欲的な表情や、シンポジウムで地域の魅力を発表する子ども達の輝いた瞳は、「自分たちのふるさと」への新たな発見や魅力を知り、その喜びや嬉しさをみんなと共有したいという気持ちで溢れていました。こうした思いが、子ども達の周りの人たちや、子ども達の次の世代へと広がることで、「下田まち遺産」を未来へつなぐ原動力となります。

## 下田まち遺産「創り・育てる」ための取組 一まち遺産のこれまで一

認定・登録まち遺産の地区別件数（市内全体 162 件※令和 3 年 12 月現在）



「下田まち遺産」とは、市民が誇りに思い、次代に継承していくべき、下田を象徴し、下田らしさを感じられるものを、「自然」「人の暮らし」「文化」「歴史」の4つのジャンルに分類しています。平成 23 年の制度発足時に認定・登録併せて 130 件であった件数は、10 年を経て現在、162 件へ増加しました。

※下田認定まち遺産：下田まち遺産を維持、保存及び創出するための取組を積極的に推進するため、市民等の参加のもとで認定したもの。

※下田登録まち遺産：下田認定まち遺産のうち、所有者等の同意が得られたもの。

## 下田まち遺産「支える」ための取組 一景観まちづくり基金のこれまで一

景観まちづくりを推進するため、下田市では市民の皆さんよりお寄せいただいた寄附や、ふるさと納税を原資とした「景観まちづくり基金」を設置し、運用させていただいています。基金は、登録まち遺産などの修繕や活用、景観に関する協定を結ぶ団体の活動資金への助成金として使わせていただいております。

| 年度             | 積立額 (円)   | 取崩額 (円)   | 累計額 (円)    |
|----------------|-----------|-----------|------------|
| 平成 22 年 (2010) | 1,530,000 | 0         | 1,530,000  |
| 平成 23 年 (2011) | 1,485,000 | 0         | 3,015,000  |
| 平成 24 年 (2012) | 1,100,000 | 2,000,000 | 2,115,000  |
| 平成 25 年 (2013) | 1,310,000 | 0         | 3,425,000  |
| 平成 26 年 (2014) | 1,055,005 | 0         | 4,475,005  |
| 平成 27 年 (2015) | 6,821,800 | 926,000   | 10,370,805 |
| 平成 28 年 (2016) | 9,505,310 | 104,000   | 19,772,115 |
| 平成 29 年 (2017) | 5,100,498 | 208,785   | 24,663,828 |
| 平成 30 年 (2018) | 6,819,640 | 1,260,945 | 30,222,523 |
| 令和元年 (2019)    | 8,788,817 | 1,179,441 | 37,831,899 |
| 令和 2 年 (2020)  | 5,853,793 | 3,620,727 | 40,069,965 |

今後も、下田市の景観を保護保全、そして活用することで、市民の皆様が改めて下田を誇りに思い、それらを次の世代にしっかりと伝えていけるよう、様々な施策を行っていききたいと思います。引き続き、下田市の景観まちづくり施策にご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。